

八街市協働のまちづくり指針（素案）に対する意見について

1. 2月6日意見交換の場における提言内容

- ・ 5 協働のまちづくりアイデアの掲載内容について

どのアイデアを掲載するか

- ・ 言葉尻の表現について

「～しましょう」という表現について

- ・ 感動できるまちづくりの表現について

ノーマライゼーションやユニバーサルデザインといった障がい者も健常者と区別することなく共に社会生活できるためのまちづくりを目指すインパクトのある表現を取り入れる。

- ・ 目次 3 (1) ①「活動主体の（地域の諸団体）のあり方」⇒「活動主体（地域の諸団体）のあり方」

- ・ 13頁 標語4の文章中「ひとりひとり」⇒「一人ひとり」

- ・ 14頁 標語3の2行目 「このまち」⇒「この街」

- ・ 3頁 ②の4行目「合計特殊出生率」について、注釈を入れる。

- ・ 八街市のまちづくりの現状と課題を踏まえて、どんな街を目指すのかを掲載する。

- ・ 7頁②「協働の領域」において、はじめから役割は決まっているものではなく、「対話」によりそれぞれの役割分担や責任が決まることを強調する。

2. 各構成員からの意見・提言

A氏

意見1

- 1 八街市のまちづくりの現状と課題について

・ (1) (2) (3) について、標題がすべて「現状」で終わっているので、「現状と課題」とすべきでは。または (4) として、今後の課題として、総括した文章を取り入れる。上記の形にしないのであれば (1) (2) (3) すべての文章にそれぞれの課題の部分をもう少し盛り込んでどうか。

意見2

・ P3 (1) ①は「景気の低迷」の標題よりも「地域経済の衰退化」のように八街の経済状況の標題に変えるべきでは。

・ P5 ②の中で、「限られた中では難しい社会となっています」の表現がわかりづらい。

意見 3

2 協働のまちづくりの考え方

(1) 協働の定義と領域

①②でそれぞれ説明しているのに、③「協働の原則」を独立させるのか(1)の表題に含めるのか。

意見 4

3 協働のまちづくりの方向性

②の部分で「地域ごとにまちづくり協議会を設置する」とあるがこのまちづくり協議会とは何処から来た言葉なのか？P24で出てくる「まちづくりセンター(仮称)」の文章中の「連絡協議会」と同じであれば統一するべき。

意見 5

5 協働のまちづくりのアイデア

(2) 市民と行政との関係を充実させる方法

まちづくりセンター(仮)の表を載せることが決定している？P26の表のような大きな枠組みでいいのでは。

まちづくりセンター(仮)の表を使うのであれば、表の下記部分の地域に関しては再考を。

意見 6

第5分科会の意見の中から抜粋して、観光客誘致、観光資源の掘り起こし等も意見に入れてほしい。

B氏

意見 1

21頁(2)3 協働の手法の3つ目

・地域活動に意欲が出るような表彰制度などの仕組みを取り入れる

改正案：地域活動に参加しやすいポイント制などの仕組みを取り入れる

表彰というと活動を長年重ねていった活動に対し後から付いてくるもので、表彰されることが目的になることは好ましくないと考えるため。

また、意欲とは「何かを成し遂げようとする気持ち」という意味であり、地域活動(ボランティア)に対し意欲が出るという表現では好ましくないと考えるため。

気軽に参加できようという願いを込めて、改正案を提案。

C氏

3点の指摘事項

意見1

5 協働のまちづくりのアイデア

分科会からの抜粋されたアイデアをすべて掲載すると、読む方が大変になるので、全体のアイデアは、適当な時期に、「広報やちまたや市ホームページ」などで掲載すればよい。

意見2

(仮称) 協働のまちづくりセンターを必ず設置する。

意見3

(仮称) 協働のまちづくりセンターの職員専従について

専従でなくとも運営可能な方法があると思われる。

理由

- ①専従の費用1名分が必要になる。余計な出費は避けたい。
- ②運営者は単なる事務処理だけでなく、提案を実行に移すことが可能でそれなりの地位の方がよい。したがって、それぞれのテーマを担当する課の課長がよい。

運営方法

- ①市民からの連絡窓口：市の総合受付電話及びホームページに窓口設置
- ②窓口は受付テーマにより担当する課に連絡する

検討会議の方法

- ①司会はテーマを担当する課長及び市民提案者の2名とする
- ②会議参加者 10名以内 多すぎないこと 活発な話し合いが必要
- ③現在の分科会参加者で可能な方は出席。市民に広報し応募も可
- ④ボランティアの非専従任期2年。病気等で継続不可の場合辞退可能
- ⑤意見集約は、市民提案者又は担当課の職員。会議回数により職員の業務負担増にならないようにするため交互に担当してもよい。
- ⑥各課のテーマ対応は2ヶ月に1回程度。検討課題(テーマ)については、学区や区単位で話し合いの場を設け多くの市民の意見・提案を吸い上げ集約してセンターに送り返す体制を整備する。市民からの問題提起がない場合会議開催不要。

理由：市側と地域側で問題点を同時進行させ議論を得ることにより問題の共有が可能。また、提案者が自治会に未加入であれば、この機会に自治会加入を促し自治会参加率の向上に努めることが可能。

D氏

意見1

3 協働のまちづくりの方向性

(1) ②5行目「地域ごとにまちづくり協議会」設置及び(2) ①例1行目「(仮称)協働のまちづくりセンターの設置」は、地域と行政が連携した取り組みを進める際の核となるべき施設と考えられるので、強力に推し進めていただきたい。

意見2

5 協働のまちづくりのアイデア

21頁(2)3協働の手法の3つ目

- ・地域活動に意欲が出るような表彰制度などの仕組みを取り入れる

削除すべきと考える。

理由：協働のまちづくりは、7頁のように市民を含む種々の団体等を活動主体として、これからの活動主体同士が連携・協力することによって目的実現を目指すわけで、表彰制度等を取り入れることにより逆に、みんなでやろうという意識の妨げになりかねず、好ましくないと考えます。

意見3

八街市総合計画2005をはじめとする各種計画や条例、宣言等に関する協働のまちづくりの推進について積極的に取り組み、目的を達成すべき。

E氏

意見1

本市が抱えているまちづくりの問題・課題をせっかく丁寧に分析しているのですから、「八街市として目指すまちづくりはどのようなものか」を、もっと明確に示した方が協働の意味合いがはっきりするものと考えます

意見2

協働の定義と領域

- ・定義の内容に「分野横断的な取り組みを増やし、それを厚くすることで一層の相乗効果が期待できる」の文言を入れるべきに思います
- ・領域については、「最初から役割分担や負担割合が決まっていないのが協働」であることを強調するべきに思います

意見3

行動理念について

- ・八街市協働のまちづくり行動理念を4つに分類している意味は理解できますが、分類に際しての文言を、もっと平易で簡単にイメージできる文言に変えた方が、視覚的にも効果があるものと考えます

地域の関係性・意識の向上	⇒	ふれあい・認めあい
地域交流	⇒	集い
地域資源	⇒	育み
連携	⇒	つながり

- ・行動理念標語に「安心」「安全」などの“安らぎ”に関する文言が使われた標語が一つもない事に違和感を覚えます ⇒現状認識からすれば、安心・安全なネットワークを構築していくための取り組みこそが「協働」の原点とも言えるのですから

【行動理念キャッチコピー】

や：やりがい、生きがい	や：やってみよう仲間と共に
ち：地域に生かし	ち：チャレンジしよう友人と共に
ま：まちの未来を	ま：まちと人の魅力を引き出すための
た：互いに紡ごう	た：たすけあい・わかちあい・ひびきあい

意見4

市民と行政との関係を充実させる方法

- ・庁内に「協働まちづくり推進室」を設けることは、分野横断的連携を図るためにも、全庁内職員の意識向上に資するためにも、外せない組織と考えます

F氏

意見1

八街市の協働のまちづくりにあたって、最大のポイントとなる今後どのような八街市を目指すのか、未来将来の八街市の姿といった将来像、目標についてももう少し議論掲載すべき。指針素案の4については、まとまり良く整理されすぎていおり、観念的教科書であるように感じる。5については、さらなる肉付けを期待する。

以上のようなことをふまえて、市民に広く読まれ今後の協働のまちづくりに活用されるために、理解しやすい文書になるように以下のように提言する。

頁	箇所	原文	提案	コメント
1	18行目	3 協働のまちづくりの <u>方向性</u>	3 協働のまちづくりの <u>ための環境づくり</u>	表現がわかりにくい
1	20行目	①活動主体の <u>（地域</u>	①活動主体（地域	削除
1	下から7行目	4 八街市協働のまちづくり <u>行動理念</u>	八街市協働のまちづくりの <u>目標</u>	内容がわかりにくい表現が硬い
2	8行目	8行目の次に挿入	<u>加えて、農業、商工業等の地域産業の衰退</u>	産業の衰退について記述
2	16行目	取り組み	取り組み <u>等</u>	いろいろな取り組みを表現
2	17行目	取り組みだけでは	取り組みだけでは、 <u>市民ニーズに的確に対応した活発な</u>	行政運営の目的を明確に打ち出す
2	20行目	20行目の次に挿入	<u>加えて、今後八街市においても市民と行政が協働で新たなまちづくりに取り組んでいくという考えが不可欠となっております。</u>	協働の必要性を強調
2	下から6行目	「協働のまちづくり」の	「協働のまちづくり」を <u>推進していく</u>	一步踏み出した表現
2	下から2行目	この指針を…の次に挿入	…「 <u>平成26年度に市民代表及び市の各業務担当職員で構成された八街市協働のまちづくり検討会で鋭意議論を重ね</u>	八街市協働のまちづくり検討会での議論の成果を明示

頁	箇所	原文	提案	コメント
2	下から2行目	まちづくりの基礎とし、市民と行政の	まちづくりの基礎として、 <u>この指針を取りまとめたところです。今後はこれを基にして市民と行政の</u>	同上
3	2行目	行政が共有し、共に連携して	行政が共有し、 <u>課題解決すべき事項・現状を確認し、共に連携して…</u>	表現の問題
3	2行目	…まちづくりを <u>推進し課題解決すべき事項・現状を確認します</u>	…まちづくりを <u>推進</u> します。	同上
3	14行目	①の文末 14行目の次に挿入	<u>また、長引く景気の低迷は経済活動にも影響をもたらし本市の財政も大きくその影響を受けている。</u>	景気低迷についても記述
3	下から13行目	合計特殊出生率	注釈を入れる	
5	11行目	②	一文字スペース挿入	
7	3行目	…まちづくり <u>活動</u> を行う	…まちづくりを行う（活動）を削除	まちづくりも活動（ダブリ）
7	4行目	ついて、 <u>次のように定めます。</u>	について、 <u>整理し項目別に取りまとめ示しました。</u>	「協働のまちづくりの考え方」 ①この項目は重要なポイントですが、検討会構成員や研修会等に参加した人以外の一般市民にはなじみにくくわかりづらいところだと思います。
7	5行目	(1)に前に「まちづくりに必要な考え方」を入れ、(1)を「協働という考え方」として(2)とする	(1)流動化時代の多種多様なニーズにマッチした市民サービスを実現していくため従来のような行政主導のまちづくりではなく、市民と行政が協働してまちづくりを推進していくという新しい考え方が、市民ニーズ、行政サ	②そのため協働

頁	箇所	原文	提案	コメント
			ービス、行政運営、財政 上等から昨今強く求め られております	のまちづくりの 必要性について まず説明し、そ の内容について 記述することが 理解されやすい と思います。 ③また、協働に ついての「定義」 及び「領域」と いうのもわかり にくくなじみが たいものと思い ます。もっとわ かりやすい表現 が必要です。 ④一応案を示し てみました検討 ください。
7	7行目	…次のように <u>定義づ</u> <u>けします。</u>	…次のように <u>整理し</u> <u>ます。</u>	表現の問題
7	下から9行 目	② <u>協働の領域</u>	② <u>協働で活動する場合</u> <u>の担当分野</u>	同上
8	1行目	③ <u>協働の原則</u>	③ <u>まちづくりを市民と</u> <u>行政が協働で推進する</u> <u>にあたって配慮すべき</u> <u>点。</u>	原則という表現がわかりづら い
8	2行目	…推進する <u>ため、次の</u> <u>項目を基本原則として</u> <u>定めます。</u>	…推進する <u>にあたっ</u> <u>て次の項目に配慮しま</u> <u>す。</u>	同上
8	8行目	<u>自分がまちづくり活動</u> <u>を行う主体</u> であること を	<u>個々がまちづくり活動</u> <u>を行う活動主体</u> である ことを	個別の活動主体 を表現
8	9行目	… <u>自分の</u> 役割を…	… <u>個々の活動主体の</u> 役割を…	表現の問題

頁	箇所	原文	提案	コメント
8	下から11行目	現場主義に徹し、 <u>当事者に接近して</u>	現場主義に徹し、 <u>課題に接近して</u>	同上
8	下から9行目	《 <u>補完性</u> 》	《 <u>相互補完</u> 》	同上
8	下から6行目	《 <u>相互の役割合意と評価</u> 》	《 <u>評価と検証</u> 》	同上
8	下から2行目	…協働に関する <u>活動内容</u> など…	…協働に関する <u>内容</u> など…	地域課題は活動とは無関係の場合もある。
8	下から1行目	…活性化させること。	…活性化・ <u>深化</u> させること	表現の問題
9	1行目	(2) <u>共通の視点</u>	(2) <u>協働の活力に必要なこと</u>	表現の問題
9	3行目	<u>市民全員でまちづくりを</u> 取り組むためには	<u>協働でのまちづくりに</u> 取り組むためには	表現の問題
9	5行目	…多くの <u>人</u> が…	…多くの <u>活動主体</u> が…	表現の問題
9	6行目	<u>自分は何ができるかを</u> 考え	何ができるかを考え	表現の問題
9	6行目	様々な <u>人</u> が	様々な <u>活動主体</u> が	表現の問題
9	8行目	多くの人と <u>共有しまし</u> よう	多くの人と <u>共有するこ</u> とが必要です	表現の問題
9	11行目	<u>果たしましょう</u>	<u>果たすようにします</u>	表現の問題
9	12行目	まちづくりは <u>日常</u> です	まちづくりは <u>日常生活</u> の <u>積み上げ</u> です	表現の問題
9	12行目	<u>この街に住む</u> 市民として	市民として	表現の問題
9	13行目	範囲で <u>行動</u> できる	範囲で <u>できる</u>	表現の問題
9	14行目	<u>意識</u> しましょう	<u>意識して行動</u> する <u>こと</u> が必要です	表現の問題
9	下から15行目	様々な <u>人</u> が	様々な <u>活動主体</u> が	表現の問題
9	下から11行目	環境を <u>作り</u> ましょう	環境を <u>作る</u> ことが <u>必要</u> です	表現の問題

頁	箇所	原文	提案	コメント
9	下から10行目	様々な <u>人</u> が	様々な <u>活動主体</u> が	表現の問題
9	下から9～8行目	場を <u>多くつくりましょ</u> <u>う</u>	場を <u>多く作ることが必</u> <u>要です</u>	表現の問題
9	下から6行目	地域資源を <u>活用し、</u> <u>様々な資源を</u>	地域資源を <u>活用するこ</u> <u>とが必要です。さら</u> <u>に資源を</u>	表現の問題
9	下から5行目	本来と異なる <u>活用方法</u> <u>を用いることで</u>	本来と異なる <u>活用分野</u> <u>にも活用するなど</u>	表現の問題
9	下から2行目	地域資源を掘り起こし、 今ある資源に付加価値をつけるために 様々な人たちで	地域資源を掘り起こし、 <u>また、</u> 今ある資源に 付加価値をつけるために 様々な <u>場、</u> 人たちで	表現の問題
9	下から1行目	<u>出し合いましょ</u> <u>う</u>	<u>出し合います</u>	表現の問題
10	4行目	環境を <u>作りましょ</u> <u>う</u>	環境を <u>作る必要があり</u> <u>ます</u>	表現の問題
10	6行目	場を <u>多く作りましょ</u> <u>う</u>	場を <u>多く作る必要があ</u> <u>ります</u>	表現の問題
11	1行目	3 協働のまちづくり の <u>方向性</u>	3 協働のまちづくり の <u>ための環境づくり</u>	表現の問題
11	3行目	推進するための <u>方向性</u> <u>を次のとおり定めます</u>	推進するための <u>環境づ</u> <u>くりを次のように整理</u> <u>しました</u>	表現の問題
11	8行目	チャレンジ <u>しましょ</u> <u>う</u>	チャレンジ <u>できるよう</u> <u>にします</u>	表現の問題
11	10行目	…活動 <u>しましょ</u> <u>う</u>	…活動 <u>できるように</u> <u>します</u>	表現の問題
11	12行目	…環境を <u>作りましょ</u> <u>う</u>	…環境を <u>作ることが</u> <u>大切です</u>	表現の問題
11	14行目	環境を <u>整備しましょ</u> <u>う</u>	環境を <u>整備します</u>	表現の問題
11	下から12行目	数多く <u>作りましょ</u> <u>う</u>	数多く <u>作ることが大切</u> <u>です</u>	表現の問題
11	下から9行目	人材を <u>育てましょ</u> <u>う</u>	人材を <u>育てることが必</u> <u>要です</u>	表現の問題

頁	箇所	原文	提案	コメント
1 1	下から 1 行目	仕組みを <u>作りましょう</u>	仕組みを <u>作ることが必要</u> です	表現の問題
1 2	3 行目	市民が参加しやすい	市民が <u>市政へ</u> 参加しやすい	表現の問題
1 2	下から 9 行目	③地域資源を活用する体制 (<u>制度、手続き</u>)	③地域資源を活用する体制	内容不明のため削除
1 3	1 行目	4 八街市協働のまちづくり <u>行動理念</u>	4 八街市協働のまちづくりの <u>目標</u>	表現がわかりにくい
1 3	3 行目	次の <u>とおり</u> 定めます	次の <u>ように</u> 整理します	定めるという表現は不適當
1 3	1 0 行目	八街市協働のまちづくり <u>行動理念</u>	八街市協働のまちづくりの <u>目標</u>	表現がわかりにくい
1 3	1 1 行目	分類 1 地域の <u>関係性</u>	分類 1 地域の <u>関連性</u>	表現の問題
1 3	下から 7 行目	標語 6 ……参加しやすい街を	標語 6 …… <u>参加・行動</u> しやすい街を	表現の問題
1 3	下から 6 行目	分類 3 地域資源	分類 3 地域資源の <u>掘り起こし・活用</u>	表現の問題
1 3	下から 5 行目	標語 7 豊かな資源を有効に活用し	<u>地域資源を掘り起こし</u> 、豊かな資源を有効に活用し	表現の問題
1 3	下から 3 行目	分類 4 <u>連携</u>	分類 4 <u>仲間づくりと連携強化</u>	表現の問題
1 3	下から 2 行目	標語 8 縦のつながり・横の広がり	標語 8 <u>仲間づくりを進め</u> 、縦のつながり・横のつながり	表現の問題
1 4	1 行目	分類 1 地域の <u>関係性</u>	分類 1 地域の <u>関連性</u>	表現の問題
1 4	7 行目	地域にしていこうと <u>い</u> うものです	地域にしていこうと <u>す</u> るものです	表現の問題
1 4	1 0 行目	住みよい街にしていこうと <u>い</u> うものです	住みよい街にしていこうと <u>す</u> るものです	表現の問題
1 4	1 4 行目	市民意識を育んでいこうと <u>い</u> うものです	市民意識を育んでいこうと <u>す</u> るものです	表現の問題
1 4	下から 1 1 行目	標語 6 参加しやすい街を	標語 6 参加 <u>・行動</u> しやすい街を	表現の問題

頁	箇所	原文	提案	コメント
14	下から6行目	分類3 地域資源	分類3 <u>地域資源の掘り起こし・活用</u>	表現の問題
14	下から5行目	標語7 豊かな資源を有効に活用し	<u>地域資源を掘り起こし、豊かな資源を活用し</u>	表現の問題
15	1行目	分類4 <u>連携</u>	分類4 <u>仲間づくりと連携強化</u>	表現の問題
15	2行目	標語8 縦のつながり・横の広がり	標語8 <u>仲間づくりを進め、縦のつながり・横のつながり</u>	表現の問題
17	2行目	本市において <u>協働に関する豊かなアイデア</u> が	本市において <u>市民と行政の協働によりどのようなまちづくりを目標とするのか</u> といった <u>将来像を描く際の多くの豊かなアイデア</u> が	八街市協働のまちづくり検討会の成果であるとともに今後の本市の姿を明示するものがいくつかのアイデアとして描かれているのでその旨を明記
17	18行目	「防災、減災」		意味不明
17	下から12行目	農業体験などの場 <u>など</u> において	農業体験などの場において	「など」のダブり
17	下から7行目	3. <u>安心・安全</u>	3. <u>安全・安心</u>	表現の問題
17	下から5行目	災害時に活用する防災登録カードを作成し、 <u>近所で助け合うネットワークを作り、防災マップを地域ごとに作成する</u>	災害時に活用する防災登録カードの作成、 <u>防災マップを地域ごとに作成するとともに近所で助け合うネットワークを構築する</u>	表現の問題
18	1行目	まちづくり参加	まちづくり <u>への</u> 参加	表現の問題
23	4～5行目	(啓発・人員配置)	(啓発・人員配置、 <u>活動する仕組み、居場所の提供</u>)	分科会抜粋の部分

G氏

素案全体に関する意見

1. 協働のまちづくりのイメージがあまり見えてこないように感じる。ぼんやりとしたイメージはあるが、具体的な、頭の中に浮かぶようなイメージが見えない気がする。
2. (上記に関連して) 図や、絵、写真などを使った説明があればイメージがわかりやすく、文章がよりわかりやすいものになっていくと思う。
3. カタカナの言葉(外来語?)はできるだけ使わないほうがいいと思う。「サービス」のような既に浸透している言葉は別だが、地域コミュニティ、ワークショップというような言葉は、なんとなく意味を知っていても正確な意味はわからないという人はたくさんいると思う。理解の妨げになりかねないので、使用する際にはわかりやすく意味を説明した上で使う、もしくは欄外に言葉の定義のようなものを記載するなどの工夫があってもいいと思う。
4. カタカナの言葉でなく日本語でも、難しい言葉はあまり使用せず、わかりやすい言葉を使うとよいと思う。
5. 使用する表現・言葉はなるべく統一する、もしくは似通ったものにするほうがいいと思う。何回も同じ表現を使うことで、強調したい点が相手に伝わると思う。

文章に関する意見

P4 1行目「高度経済成長期～」の文章は、すこし長すぎると思う。

同 2行目「こうしたことから～」の文章も同様。

P8 《対等性》の説明文に関して、「市民が主役であり、～」の主語がよくわからない。「民主主義の原理からすれば、～」と「市民が主役であり～」の間に主語を入れるべきだと思う。